

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	札幌どうぶつ専門学校
設置者名	学校法人 高橋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	犬の美容学科	夜・通信	1780	160	
	動物看護学科	夜・通信	1985	160	
専門課程	ペットライフ学科	夜・通信	1812	160	
	専攻科	夜・通信	800	80	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://s-do.ac.jp

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌どうぶつ専門学校
設置者名	学校法人 高橋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://s-do.ac.jp

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社経営者	2019.4.1～ 2021.3.31	年1回～2回の理事会を通じて教育課程並びに学校運営についての審議
非常勤	会社経営者	2019.4.1～ 2021.3.31	年1回～2回の理事会を通じて教育課程並びに学校運営についての審議
非常勤	動物病院会長（獣医師）	2019.4.1～ 2021.3.31	年1回～2回の理事会を通じて教育課程並びに学校運営についての審議
非常勤	個人経営者	2019.4.1～ 2021.3.31	年1回～2回の理事会を通じて教育課程並びに学校運営についての審議
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌どうぶつ専門学校
設置者名	学校法人 高橋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>年数回開催のカリキュラム検討会議の中で達成状況、課題・問題点等について協議し、シラバスを作成している。</p> <p>新年度初日のガイダンスにおいて学生全員に学生便覧という形で配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://s-do.ac.jp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>1 評価方法・基準は、①定期試験 ②小テスト・作品・技術力 ③レポート ④授業態度 ⑤出席率からなり、評価割合は講義概要(シラバス)に記載されている。</p> <p>2 評価は5段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。</p> <p>A 100～90ポイント B 89～80ポイント C 79～60ポイント D 59～50ポイント E 49～ ポイント (単位未修得)</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、GPAの導入方法としては、E評価(単位未修得)となった学生に対し、補講、再試験又は特別試験を実施。</p> <p><GPAの算出方法> A評価4点、B評価3点、C評価2点、D評価1点、E評価0点。 各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。 全教科の合計点を総単位数で割り小数点第2位を四捨五入した数値。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	http://s-do.ac.jp
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業は各学科の全科目を履修すること。 本学の定める所定の単位を修得した者、修得見込み者に対し、3月初旬卒業認定会議を実施し、卒業認定者を学内掲示板に公示。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://s-do.ac.jp

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	札幌どうぶつ専門学校
設置者名	学校法人 高橋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://s-do.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	http://s-do.ac.jp
財産目録	http://s-do.ac.jp
事業報告書	http://s-do.ac.jp
監事による監査報告（書）	http://s-do.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	犬の美容学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2136 単位時間/91 単位	500 時間	時間	1636 時間	時間/ 時間	時間
		2136 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		26人	人	4人	8人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>年数回開催のカリキュラム検討会議の中で達成状況、課題・問題点等について協議し、シラバスを作成している。 新年度初日のガイダンスにおいて学生全員に学生便覧という形で配布している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>1 評価方法・基準は、①定期試験 ②小テスト・作品・技術力 ③レポート ④授業態度 ⑤出席率からなり、評価割合は講義概要（シラバス）に記載されている。</p> <p>2 評価は5段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。</p> <p>A 100～90ポイント B 89～80ポイント C 79～60ポイント D 59～50ポイント E 49～ ポイント（単位未修得）</p>

本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、GPAの導入方法としては、E評価（単位未修得）となった学生に対し、補講、再試験又は特別試験を実施。

<GPAの算出方法>

A評価4点、B評価3点、C評価2点、D評価1点、E評価0点。
各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。
全教科の合計点を総単位数で割り小数点第2位を四捨五入した数値。

卒業・進級の認定基準

卒業は各学科の全科目を履修すること。
本学の定める所定の単位を修得した者、修得見込み者に対し、3月初旬卒業認定会議を実施し、卒業認定者を学内掲示板に公示。

学修支援等

本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、E評価（単位未修得）となった学生に対し、補講、再試験又は特別試験を実施。
特別試験とは、再々試験不合格者及び科目の出席率が2/3に満たない学生が補講を受け出席率を満たした場合に実施する試験であり、その判定評価については学校長と担当教員の判断のもと決定する。これらについては、学生便覧にて公表している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	1人 (8.3%)	11人 (91.7%)	人 (%)

(主な就職、業界等)

・ペットショップ ・ペットサロン ・動物病院 ・動物関連企業

(就職指導内容)

- ・ペット業界講話～最新のペット業界の現状と今後を知る
- ・担当教員による個別面談、自分研究
- ・長期休業（夏休み・冬休み）を利用した自主的業界実習
- ・履歴書等の書き方研修
- ・授業の一環としての学外現場実習
- ・就職希望企業調査の実施
- ・ペット業界で活躍中の先輩たちを招いてのトーク会の実施
- ・ペット業界企業による合同企業説明会への参加
- ・企業人による職業講話の実施
- ・就職未活動者に対する個別面談の実施

(主な学修成果（資格・検定等）)

- ・ジュニアトリマーライセンス（初級トリマーライセンス）
- ・インターミディットトリマーライセンス（中級トリマーライセンス）
- ・ペットエステティック国際協会認定ペットエステティシャン

<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物飼養管理士 2 級 ・愛玩動物飼養管理士 1 級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
2019年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	2人	7.1%
(中途退学の主な理由)		
<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトとの両立の不具合 ・人間関係 ・進路変更 ・動物アレルギーの発症 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・入学前の体験授業（プレカレッジ）などを通じて職業観や本学科での学びについて理解を高め、入学後のミスマッチを防止する。 ・動物アレルギーの有無の確認 ・個別面談を繰り返し行い、中退を希望する理由の聞き取り、状況によっては保護者の方を交えての面談の実施など早期に行い、防止に努める ・身体的または精神的理由で中退を希望する学生に対して、休学措置の提案 それに関わる奨学金の停止や早期届け出による授業料返還など、復学がスムーズに行われるための措置 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務分野		専門課程	動物看護学科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	2415 単位時間／122 単位	1240 時間	時間	1175 時間	時間/ 時間
			2415 単位時間／単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人		29人	人	4人	13人	17人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>年数回開催のカリキュラム検討会議の中で達成状況、課題・問題点等について協議し、シラバスを作成している。</p> <p>新年度初日のガイダンスにおいて学生全員に学生便覧という形で配布している。</p> <p>成績評価の基準・方法</p>

<p>1 評価方法・基準は、①定期試験 ②小テスト・作品・技術力 ③レポート ④授業態度 ⑤出席率からなり、評価割合は講義概要（シラバス）に記載されている。</p> <p>2 評価は5段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。</p> <p>A 100～90ポイント B 89～80ポイント C 79～60ポイント D 59～50ポイント E 49～ ポイント（単位未修得）</p> <p>本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、GPAの導入方法としては、E評価（単位未修得）となった学生に対し、補講、再試験又は特別試験を実施。</p> <p><GPAの算出方法> A評価4点、B評価3点、C評価2点、D評価1点、E評価0点。 各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。 全教科の合計点を総単位数で割り小数点第2位を四捨五入した数値。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>卒業は各学科の全科目を履修すること。 本学の定める所定の単位を修得した者、修得見込み者に対し、3月初旬卒業認定会議を実施し、卒業認定者を学内掲示板に公示。</p>
<p>学修支援等</p> <p>本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、E評価（単位未修得）となった学生に対し、補講、再試験又は特別試験を実施。 特別試験とは、再々試験不合格者及び科目の出席率が2/3に満たない学生が補講を受け出席率を満たした場合に実施する試験であり、その判定評価については学校長と担当教員の判断のもと決定する。これらについては、学生便覧にて公表している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	人 (%)	5人 (83.3%)	1人 (16.7%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>・ペットショップ ・ペットサロン ・動物病院 ・動物関連企業</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>・ペット業界講話～最新のペット業界の現状と今後を知る</p>			

<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員による個別面談、自分研究 ・長期休業（夏休み・冬休み）を利用した自主的業界実習 ・履歴書等の書き方研修 ・授業の一環としての学外現場実習 ・就職希望企業調査の実施 ・ペット業界で活躍中の先輩たちを招いてのトーク会の実施 ・ペット業界企業による合同企業説明会への参加 ・企業人による職業講話の実施 ・就職未活動者に対する個別面談の実施
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアトリマーライセンス（初級トリマーライセンス） ・動物看護師統一認定機構認定動物看護師 ・愛玩動物飼養管理士2級 ・愛玩動物飼養管理士1級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
2019年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	3人	13.6%
(中途退学の主な理由) <ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトとの両立の不具合 ・人間関係 ・進路変更 ・動物アレルギーの発症 		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・入学前の体験授業（プレカレッジ）などを通じて職業観や本学科での学びについて理解を高め、入学後のミスマッチを防止する。 ・動物アレルギーの有無の確認 ・個別面談を繰り返し行い、中退を希望する理由の聞き取り、状況によっては保護者の方を交えての面談の実施など早期に行い、防止に努める ・身体的または精神的理由で中退を希望する学生に対して、休学措置の提案 それに関わる奨学金の停止や早期届け出による授業料返還など、復学がスムーズに行われるための措置 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務分野		専門課程	ペットライフ学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	2168 単位時間/99 単位	610 時間	時間	1558 時間	時間/ 時間
			2168 単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人	17人	人	4人	9人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>年数回開催のカリキュラム検討会議の中で達成状況、課題・問題点等について協議し、シラバスを作成している。 新年度初日のガイダンスにおいて学生全員に学生便覧という形で配布している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>1 評価方法・基準は、①定期試験 ②小テスト・作品・技術力 ③レポート ④授業態度 ⑤出席率からなり、評価割合は講義概要（シラバス）に記載されている。</p> <p>2 評価は5段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。</p> <p>A 100～90ポイント B 89～80ポイント C 79～60ポイント D 59～50ポイント E 49～ ポイント（単位未修得）</p> <p>本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、GPAの導入方法としては、E評価（単位未修得）となった学生に対し、補講、再試験又は特別試験を実施。</p> <p><GPAの算出方法> A評価4点、B評価3点、C評価2点、D評価1点、E評価0点。 各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。 全教科の合計点を総単位数で割り小数点第2位を四捨五入した数値。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>卒業は各学科の全科目を履修すること。 本学の定める所定の単位を修得した者、修得見込み者に対し、3月初旬卒業認定会議を実施し、卒業認定者を学内掲示板に公示。</p>
学修支援等
<p>本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、E評価（単位未修得）となった学生に対し、補講、再試験又は特別試験を実施。 特別試験とは、再々試験不合格者及び科目の出席率が2/3に満たない学生が補講を受け出席率を満たした場合に実施する試験であり、その判定評価については学</p>

校長と担当教員の判断のもと決定する。これらについては、学生便覧にて公表している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	1人 (8.3%)	10人 (83.3%)	1人 (8.3%)
(主な就職、業界等) ・ペットショップ ・ペットサロン ・動物病院 ・動物関連企業			
(就職指導内容) ・ペット業界講話～最新のペット業界の現状と今後を知る ・担当教員による個別面談、自分研究 ・長期休業（夏休み・冬休み）を利用した自主的業界実習 ・履歴書等の書き方研修 ・授業の一環としての学外現場実習 ・就職希望企業調査の実施 ・ペット業界で活躍中の先輩たちを招いてのトーク会の実施 ・ペット業界企業による合同企業説明会への参加 ・企業人による職業講話の実施 ・就職未活動者に対する個別面談の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・ペットライフインストラクターライセンス ・国際セラピードッグ協会認定ジュニアハンドラー ・ジュニアトリマーライセンス（初級トリマーライセンス） ・愛玩動物飼養管理士2級 ・愛玩動物飼養管理士1級 ・介護職員初任者研修修了者			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2019年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	3人	13.0%
(中途退学の主な理由) ・アルバイトとの両立の不具合 ・人間関係 ・進路変更 ・動物アレルギーの発症		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・入学前の体験授業（プレカレッジ）などを通じて職業観や本学科での学びについて		

<p>て理解を高め、入学後のミスマッチを防止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物アレルギーの有無の確認 ・個別面談を繰り返し行い、中退を希望する理由の聞き取り、状況によっては保護者の方を交えての面談の実施など早期に行い、防止に努める ・身体的または精神的理由で中退を希望する学生に対して、休学措置の提案 それに関わる奨学金の停止や早期届け出による授業料返還など、復学がスムーズに行われるための措置

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	800 単位時間/28 単位	30 時間	時間	870時 間	時間/	時間
			800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		2人	人	4人	人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>年数回開催のカリキュラム検討会議の中で達成状況、課題・問題点等について協議し、シラバスを作成している。 新年度初日のガイダンスにおいて学生全員に学生便覧という形で配布している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>1 評価方法・基準は、①定期試験 ②小テスト・作品・技術力 ③レポート ④授業態度 ⑤出席率からなり、評価割合は講義概要（シラバス）に記載されている。</p> <p>2 評価は5段階評価とし、各評価項目の割合に対してのポイント合計を下記に当てはめ成績とする。</p> <p>A 100～90ポイント B 89～80ポイント C 79～60ポイント D 59～50ポイント E 49～ ポイント（単位未修得）</p> <p>本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、GPAの導入方法としては、E評価（単位未修得）となった学生に対し、補講、再試験又は特別試験を実施。</p> <p><GPAの算出方法> A評価4点、B評価3点、C評価2点、D評価1点、E評価0点。 各教科の評価を上記数値に置換え、単位数×評価点を算出。 全教科の合計点を総単位数で割り小数点第2位を四捨五入した数値。</p>
卒業・進級の認定基準

<p>卒業は各学科の全科目を履修すること。 本学の定める所定の単位を修得した者、修得見込み者に対し、3月初旬卒業認定会議を実施し、卒業認定者を学内掲示板に公示。</p>
<p>学修支援等</p> <p>本学基礎科目並びに専門科目は全て必修科目であり、E評価（単位未修得）となった学生に対し、補講、再試験又は特別試験を実施。 特別試験とは、再々試験不合格者及び科目の出席率が2/3に満たない学生が補講を受け出席率を満たした場合に実施する試験であり、その判定評価については学校長と担当教員の判断のもと決定する。これらについては、学生便覧にて公表している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	人 (%)	2人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) ・ペットショップ ・ペットサロン ・動物病院 ・動物関連企業			
(就職指導内容) ・ペット業界講話～最新のペット業界の現状と今後を知る ・担当教員による個別面談、自分研究 ・長期休業（夏休み・冬休み）を利用した自主的業界実習 ・履歴書等の書き方研修 ・授業の一環としての学外現場実習 ・就職希望企業調査の実施 ・ペット業界で活躍中の先輩たちを招いてのトーク会の実施 ・ペット業界企業による合同企業説明会への参加 ・企業人による職業講話の実施 ・就職未活動者に対する個別面談の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・ジュニアトリマーライセンス（初級トリマーライセンス） ・インターミディットトリマーライセンス（中級トリマーライセンス） ・ペットエステティック国際協会認定ペットエステティシャン ・愛玩動物飼養管理士2級 ・愛玩動物飼養管理士1級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2019年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中退防止・中退者支援のための取組) ・入学前の体験授業(プレカレッジ)などを通じて職業観や本学科での学びについて理解を高め、入学後のミスマッチを防止する。 ・動物アレルギーの有無の確認 ・個別面談を繰り返し行い、中退を希望する理由の聞き取り、状況によっては保護者の方を交えての面談の実施など早期に行い、防止に努める ・身体的または精神的理由で中退を希望する学生に対して、休学措置の提案 それに関わる奨学金の停止や早期届け出による授業料返還など、復学がスムーズに行われるための措置		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載 事項)
犬の美容学科	100000円	600000円	250000円	
動物看護学科	100000円	600000円	250000円	
ペットライフ学科	100000円	600000円	250000円	
専攻科	100000円	520000円	217000円	
修学支援(任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・学費分割納システム ・特待生制度による学費免除 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
<ul style="list-style-type: none"> ・本校ホームページに公表 ・本校ホームページURL・・・http://s-do.ac.jp
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)
学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、本校が行う自己評価の結果についての評価を行う。評価結果を踏まえ教務会議等で教職員に周知するとともに問題点を検討し、学校長以下関係者で次年度の改善に取り組む。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社エヌエスグリーン	R2. 4. 1～R3. 3. 31	業界の有識者
第一ペット商事株式会社	R2. 4. 1～R3. 3. 31	学校評議員
Sweet tomboy dog	R2. 4. 1～R3. 3. 31	本校卒業生
主婦	R2. 4. 1～R3. 3. 31	地域住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<ul style="list-style-type: none"> • 本校ホームページに公表 • 本校ホームページURL・・・http://s-do.ac.jp 		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p style="text-align: center;">http://s-do.ac.jp</p>
